

常任委員会での協議内容（令和2年9月）

No	議会報告会での市民からの主な意見	議会報告会での担当班の回答	常任委員会での協議内容
1	<p>中央公園に防犯カメラを設置してほしい。 (加賀野地区町会連合会)</p>	<p style="text-align: center;">—</p>	<p>御要望にありました加賀野中央公園には今年度内に防犯カメラが設置される予定です。</p>
2	<p>①コミュニティセンター化が不安だ。公民館は社会教育の場でありとても重要。地域の社会教育が守れないのではないか。地域の方が自由に集って自由に学ぶ権利は守られるべき。流行りでコミュニティセンター化しないでほしい。 (加賀野地区町会連合会)</p> <p>②地域コミュニティ組織とは何なのかを知らない人が多いので、住民にアピールしてほしい。そしてそれがいいのか悪いのかを住民の皆さんに検討してもらいたい。 (加賀野地区町会連合会)</p> <p>③コミュニティ組織が進められる中で、高齢者支援はどのように考えているのか。従来通りか。高齢者が高齢者を支える時代になるのでは。 (加賀野地区町会連合会)</p>	<p>①地域ごとの声を拾ってやっていける体制作りが必要。これまでの説明では市民の皆さんに伝わっていないということを市に訴えていきたい。</p> <p>②執行部には丁寧に説明して、型にはまったもので進めることはしないでほしいと申し入れしている。周知がまだまだ徹底されていないことを執行部に伝え、身のある組織づくりができるように備えていきたい。</p> <p>③コミュニティ組織化による高齢者支援の変更は何も聞いていない。</p>	<p>①コミュニティセンター化につきましては、モデル地区や地区説明会をとおして、市民の皆さんの御意見を伺いながら、慎重に検討してまいりたいと考えています。</p> <p>②今年度は広報や啓発パンフレットを活用し、積極的にPRを行っているところです。今後も、まちかど市民講座等を通じて理解を深めていただきながら、皆様からいただいた御意見を地域コミュニティ組織の設立に生かしたいと考えています。</p> <p>③高齢者支援については、これまでと同様、行政が主体となって支援を進めます。しかしながら、高齢化が進むこと等により、行政の支援に加えて、地域住民で支え合う共助の仕組みが必要となります。その担い手となるのが地域コミュニティ組織であり、高齢者世帯の見守り、ゴミ出し問題や買い物支援など、地区でできる高齢者支援に取り組んでいただきたいと思います。</p>
3	<p>市民自らが考えるまちづくりが必要。市民活動推進事業なるものを設け、市民が企画・実施するまちづくりに対して助成金を交付してもらえないか。その事業により美川らしい町の景観づくりや荒れ地を整備していけばどうか。 (美川支所区長会連絡会)</p>	<p>市民協働のまちづくりとして市も目指しており、ある程度醸成してくれば予算もついてくると考えている。</p>	<p>市民が主体となり企画・実施するまちづくり活動を展開していく上で、事務費や活動費など一定の財源支援が必要と考えています。地域コミュニティ組織の設立に向けたモデル地区での取組をとおして、よりよい地域予算について検討したいと考えています。</p>

No	議会報告会での市民からの主な意見	議会報告会での担当班の回答	常任委員会での協議内容
4	<p>①美川3地区は海拔が非常に低いので、大型の避難施設がほしい。鹿島町では北国ショセキから一時避難場所としての了承を得ている。新たに建設するのはお金もかかるので、例えば一時避難所として企業と市が防災協定を結んでくれば、町会としても動きやすくなるので、企業への働きかけをお願いしたい。</p> <p>(美川支所区長会連絡会)</p> <p>②コロナの関連で災害が起きた場合の避難に関して、分散避難を行う上で集会所を使えないか。また、密を避け、感染を避けるために間仕切りが必要だ。</p> <p>(美川支所区長会連絡会)</p>	<p>①美川地区の避難施設の一覧など情報交換できればいいと思う。協定については、町内会単位で結ぶのではなく、市として結ぶことが必要だと思う。協定を結んだ企業も避難施設一覧表に載せればいいと思う。</p>	<p>①地域のことを熟知した地元の皆さんが、地域にある施設と避難の受入体制を築いていくことは重要なことです。町内会から御相談があれば、共に考えてまいります。</p> <p>②集会所は、各町内会が管理するものですので、災害の種別ごとに考えていただき安全が確保できるということであれば、分散避難の場所とすることについての可否は、町内会で判断いただければと思います。なお、間仕切りなどの避難所備品は、市の備蓄や民間事業者との協定で必要数の確保に努めてまいります。</p>
5	<p>町内への配布物が多い。LINEなどを使ってペーパーレスにすれば印刷代も減らせるし、その分のお金をいろんなところに回せるのでは。</p> <p>(加賀野地区町会連合会)</p>	<p>議会からも言っている。LINEや電子回覧板などをこれから考えていく時代になるのではないかと。</p>	<p>市では、各課に対し配布物の必要性を吟味し、全戸配布していたものを町内回覧に切り替える、広報はくさんやホームページ、フェイスブックなど、他の媒体の活用などを周知し、配布物の削減に取り組んでまいりました。一方で、LINEなどインターネットを使った情報発信では、現状は全ての市民が受け取れる環境にあるとは思えませんので、引き続き紙媒体での情報発信も必要であると考えております。</p>
6	<p>町内一斉クリーン週間を設定し、公共スペースなどを清掃してはどうか。市民の環境意識の向上に繋がる。</p> <p>(美川支所区長会連絡会)</p>	<p>—</p>	<p>松任、美川、鶴来地域の皆さんに年2回のクリーン作戦をお願いしています。内容につきましては、町内の道路や公民館等の公共用地のゴミ拾い・草むしり、生活排水路や側溝の土砂上げ清掃です。年2回市民の方をお願いをしていることから、これとは別に町内一斉クリーン週間を設定することは、現在考えておりません。</p>

No	議会報告会での市民からの主な意見	議会報告会での担当班の回答	常任委員会での協議内容
7	<p>高齢化率が高く、空き家が増えている。美川支所にも空き家バンクの窓口を設置してはどうか。</p> <p>(美川支所区長会連絡会)</p>	—	<p>市の空き家バンクにつきましては、不動産業者が多数加盟する石川県宅建協会との協定により、官民一体となり空き家バンクの運営を進める一方、地域住民とも一緒に空き家問題に今後も取り組んでまいりたいと考えておりますので、これまでどおり定住支援課が窓口となり対応したいと考えています。</p>
8	<p>コロナの関係で経済的に困窮している市民が増えおり、その対応をもお願いしたい。就業の確保を考えてほしい。</p> <p>(加賀野地区町会連合会)</p>	<p>根本的な解決にはならないが、作業所などでのマスク作りを斡旋している。</p>	<p>経済的に困窮している市民への対応についてですが、市では国や県が対応できない事業者を対象に各種支援を行っているところです。また国等に対し、全国市長会などを通じて支援要望を行っているところであり、国や県の動向と地元経済を注視しながら市で支援できることがあれば検討していきたいと考えています。</p> <p>就業の確保については、市ではコロナ禍の影響を受けた企業等の人員削減、雇い止めなどにより就労機会を失った方々の新たな就労に向けたスキルアップのために行う職業訓練終了者に就業支援給付金の制度を設け支援しています。今後ともハローワークや地域経済団体と連携し、求職者へ適切に求人情報を提供するなど、雇用に結びつく取組を実施してまいりたいと考えています。</p>
9	<p>樹木の伐採に対する補助についても融通を利かせてほしい。(加賀野体育館横)</p> <p>(加賀野地区町会連合会)</p>	<p>融通が利くように、地域のために補助ができるようにしていきたい。</p>	<p>水路につきましては、松任土地改良区が管理する水路です。水路内に植生している高木の伐採につきましては、管理者である松任土地改良区が撤去することとなります。</p>

No	議会報告会での市民からの主な意見	議会報告会での担当班の回答	常任委員会での協議内容
10	<p>コロナ禍の下、密を避けるためにも少人数学級を目指してほしい。5・6年生になると40人に近い人数になっているのが現状ではないか。35人学級や35人を30人に減らすなど、県・市独自で何らかのサポート体制をとる必要がある。</p> <p>(美川支所区長会連絡会)</p>	—	<p>教室の確保、それから教員不足の現場から必要な講師を確保することなど非常に難しい状況です。来年度すぐに国県の支援なしで市独自で35人学級に取り組むことは難しいというふうに考えています。今後も引き続き要望してまいりたいと考えております。</p>
11	<p>体育施設が足りない。予約も取れない状況であり、新しい体育館をつくるべきではないか。</p> <p>(加賀野地区町会連合会)</p>	<p>ニーズ調査をしなければならない。現状を把握していきたい。</p>	<p>加賀野の公民館の体育館、松陽小学校、笠間中学校の体育館の利用状況を調査させていただきましたが、曜日によってはまだ空きがある状況です。また近隣の日輪体育館につきましても若干空きがありますので、こちらを御利用いただきたいと思います。</p> <p>13施設ある体育館のそのほとんどが建設より30年以上経過しており、中・大規模修繕工事箇所が出ております。市といたしましては、安全・安心に利用していただくため、緊急性のある施設、破損、老朽化等を踏まえ、施設修繕の優先順位を決定し施設の長寿命化を図る修繕工事を実施しているところです。その中で、長寿命化を図ることや新しく体育館を建設する必要があるのかは今後検討を重ねていく必要があると考えております。</p>
12	<p>加賀海浜道路の横の西川・熊田川が改修されるが、湊地区全体を考えた整備計画を考えてほしい。新しい道路への湊からのアクセス道路なども含めた計画を立てたほうがいいと思う。</p> <p>(美川支所区長会連絡会)</p>	<p>西川・熊田川の関係は、国交省で樋門をつくる計画がある。河川の改修に応じて道路の改修も必要になってくると思う。道路関係は市へ陳情に行けばどうか。</p>	<p>現状では国・県が調査・設計に入っている中で、具体的な線形等が出てきた段階で地域の皆さんの意見を聞きながら、また地域と歩調を合わせながら事業を進めてまいりたいと考えております。</p>

No	議会報告会での市民からの主な意見	議会報告会での担当班の回答	常任委員会での協議内容
13	<p>小舞子海水浴場について、かもめういんぐを初め施設が老朽化している。シャワー室のシャワーやエアコンのほか、以前に事件があったことから、防犯カメラを設置できないか。</p> <p>(美川支所区長会連絡会)</p>	<p>担当課に伝え、現場を検証させます。</p>	<p>かもめういんぐ両サイドに設置されております大型テントの枠組部材に腐食による断裂があり、大型テントは今年度使用せず、二間四間のテントを8張設置して対応しています。大型テントの枠組部材の調査を行い、今後の方針を検討したいと考えています。ビーチハウスにおきましても築23年経過しております。ハウス内には温水シャワー男女各6か所設置しており、故障箇所につきましては修繕済みとなっております。屋外にも男女各4か所設置されています。そしてエアコンの故障により管理人室に簡易移動式のものを設置して対応しています。</p>